

避難用滑り台ベストセーフティー 製品案内

株式会社 小山田鉄工

〒229-1125 神奈川県相模原市田名塩田 1-16-14

TEL 042-778-4470・778-4832 FAX 042-778-3148

<http://www.oyamada-tekko.co.jp>

E-mail info@oyamada-tekko.co.jp

はじめに

本製品案内は、(株)小山田鉄工の避難用滑り台ベストセーフティーシリーズの中でも、一般的にお問合せされることが多い製品や項目に関して、その概要をまとめたものです。設計に際しては、別途弊社標準図面集、消防関連法規等をご覧になり、所轄消防署と協議の上で検討を行うことを推奨いたします。また、誠に申し訳ないことですが、製品の全てについて記載されているものではございませんので、本案内に記載されていない製品に関するご質問などは、御手数ですが弊社までお問合せいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

ベストセーフティー ON型 (認定番号 たい-231).....	1
ベストセーフティー ON-S型 (認定番号 たい-242).....	2
ベストセーフティー OT型 (認定番号 たい-125).....	3
ベストセーフティー OT-S型 (認定番号 たい-126).....	4
ベストセーフティー OB型 (認定番号 たい-118).....	5
ベストセーフティー OB-S型 (認定番号 たい-119).....	6
ベストセーフティー OBL型 (認定番号 たい-120).....	7
ベストセーフティー OBL-S型 (認定番号 たい-121).....	8
ベストセーフティー OBK型 (認定番号 たい-122).....	9
ベストセーフティー OBK-S型 (認定番号 たい-123).....	10
ベストセーフティー OBV型 (認定番号 たい-124).....	11
ベストセーフティー OBV-S型 (認定番号 たい-217).....	12
共通項目・仕様.....	13
避難用滑り台ベストセーフティー 一覧表.....	13
認定品制度とは.....	13
鋼製滑り台におけるメッキ・仕上塗装に関して.....	13
本来の用途.....	13
維持・管理方法.....	13
耐用年数について.....	13



- 本製品案内の内容は2008年6月現在となっております。
 - 品質改善のため、製品の仕様などは予告なく変更される場合がございます。
 - 本製品案内の内容は予告なく変更されることがあります。
- 予めご了承ください。

本製品案内中の文章(引用箇所を除く)、画像などの著作権は小山田鉄工に帰属します。
本製品案内の無断転載、加工、改変、複製その他の行為を禁じます。

ベストセフティー ON型 (認定番号 たい-231)

省スペース避難用滑り台

特徴

省スペース型らせん式滑り台です。敷地に余裕のない建物などでも設置できるように、占有面積を抑えたコンパクトな設計となっており、最小直径 1,318mm※を実現しました。(※階高等によって変わります) 基本的な構成材料はスチールです。滑り面には耐久性の高いSUS304ステンレス板を使用しており、滑降性能を長期間保持します。

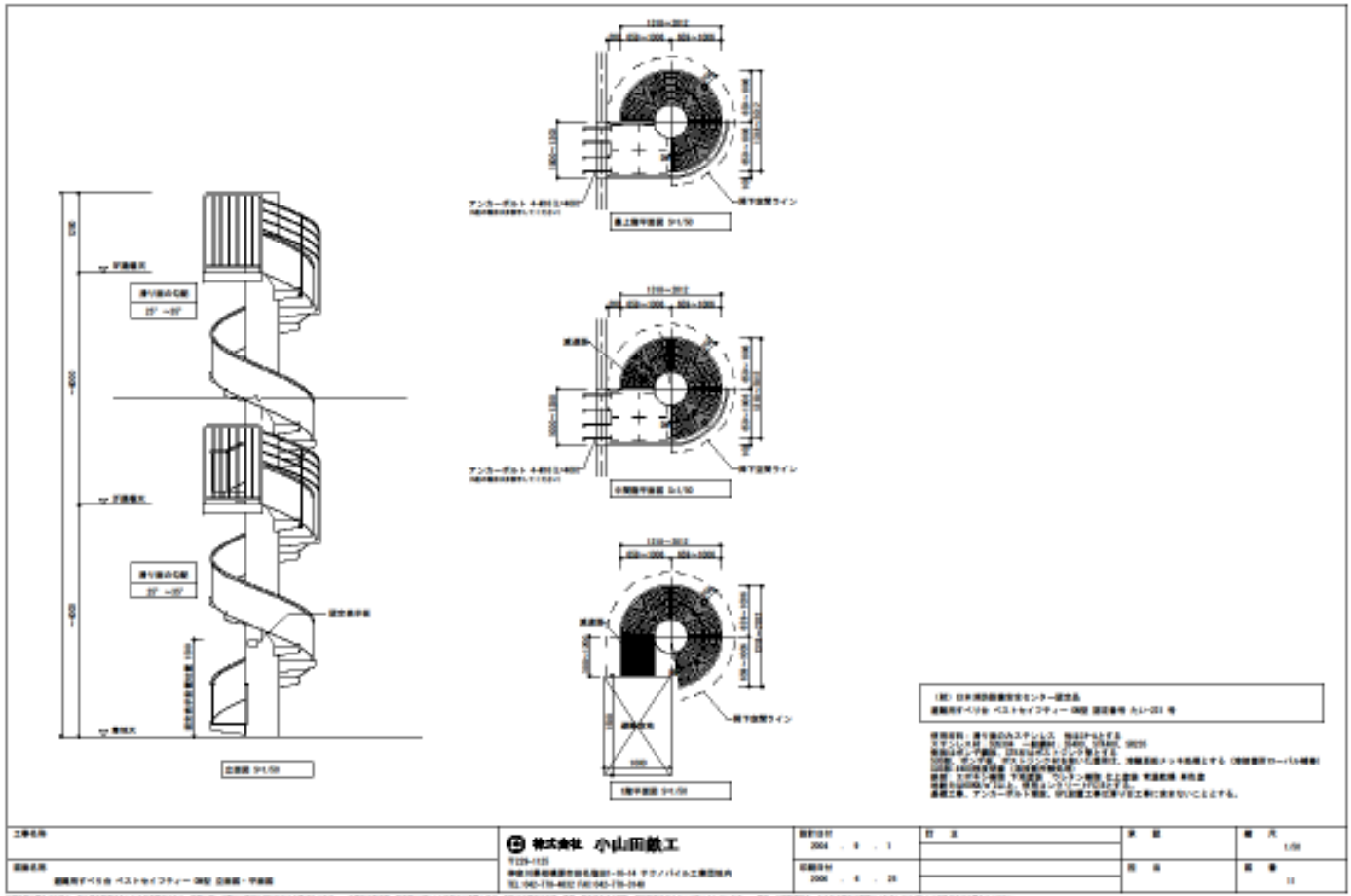
製品仕様

形式	らせん式	ルーバー	無
設置可能階数	5F(4層)まで	屋根	オプションで設置可(要追加料金)
主要構成材料	亜鉛メッキ処理※1 スチール※2		
滑り面	ステンレス※3	備考	
仕上塗装	ポリウレタン樹脂塗装(鉄部)		

※1 溶融亜鉛メッキ、電気メッキであって、いわゆるドブ漬ではありません。

※2 SS400、STK400、SR235 等です。 ※3 SUS304 です。

図面イメージ



施工例



ベストセフティー ON-S型 (認定番号 たい-242)

省スペース避難用滑り台

特徴

ON 型を基本に、構成材料を全て SUS304 ステンレスとしたタイプです。

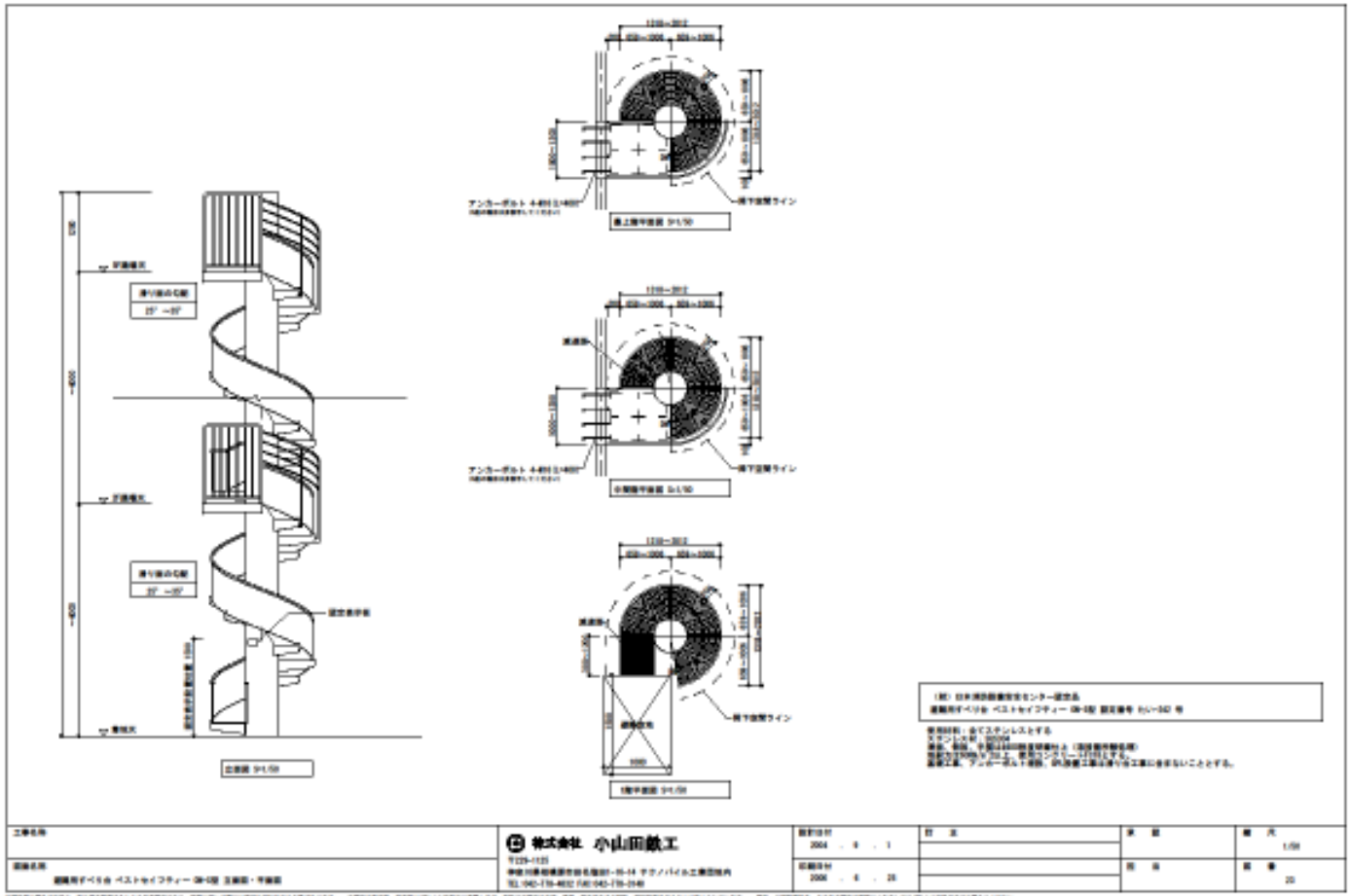
高耐候性とメンテナンスフリーが期待できる高性能の滑り台です。

製品仕様

形式	らせん式	ルーバー	無
設置可能階数	5F(4層)まで	屋根	オプションで設置可(要追加料金)
主要構成材料	ステンレス※1		
滑り面	ステンレス※1	備考	
仕上塗装	無		

※1 SUS304 です。

図面イメージ



施工例



ベストセフティー OT型 (認定番号 たい-125)

直線式避難用滑り台の標準タイプ

特徴

直線式のもっともベーシックなタイプの避難用滑り台です。

基本的な構成材料はスチールです。滑り面には耐久性の高いSUS304ステンレス板を使用しており、滑降性能を長期間保持します。

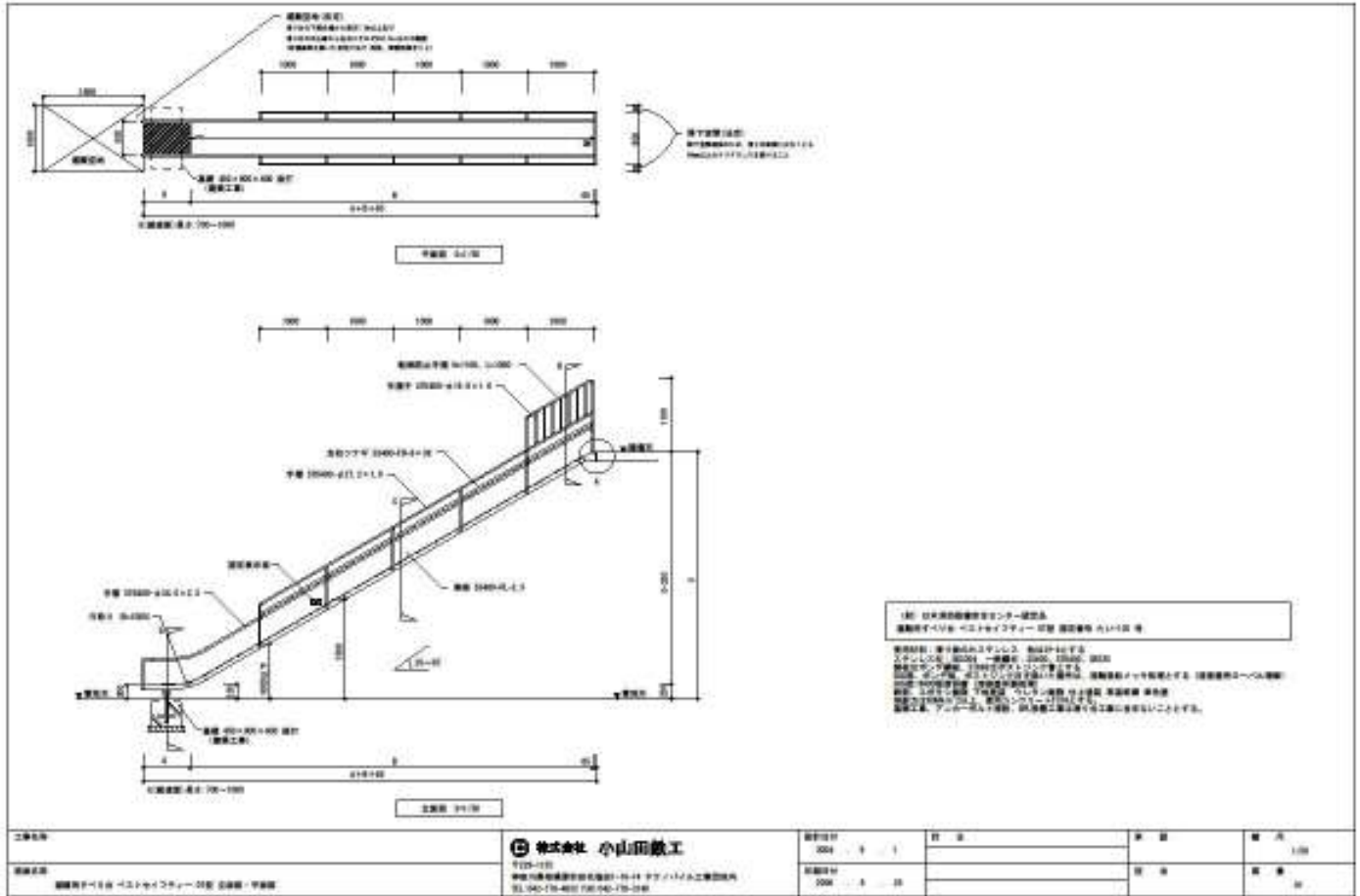
製品仕様

形式	直線式	ルーバー	無
設置可能階数	2F(1層)まで	屋根	無
主要構成材料	亜鉛メッキ処理※1 スチール※2		
滑り面	ステンレス※3	備考	
仕上塗装	ポリウレタン樹脂塗装(鉄部)		

※1 溶融亜鉛メッキ、電気メッキであって、いわゆるドブ漬ではありません。

※2 SS400、STK400、SR235等です。 ※3 SUS304です。

図面イメージ



施工例



ベストセフティー OB型 (認定番号 たい-118)

らせん式避難用滑り台の標準タイプ

特徴

らせん式滑り台の基本となるタイプです。らせん式のため、2フロア以上ある建物にも比較的小さな平面スペースで設置することが可能となります。

基本的な構成材料はスチールです。滑り面には耐久性の高いSUS304ステンレスパイプを使用しており、滑降性能を長期間保持します。

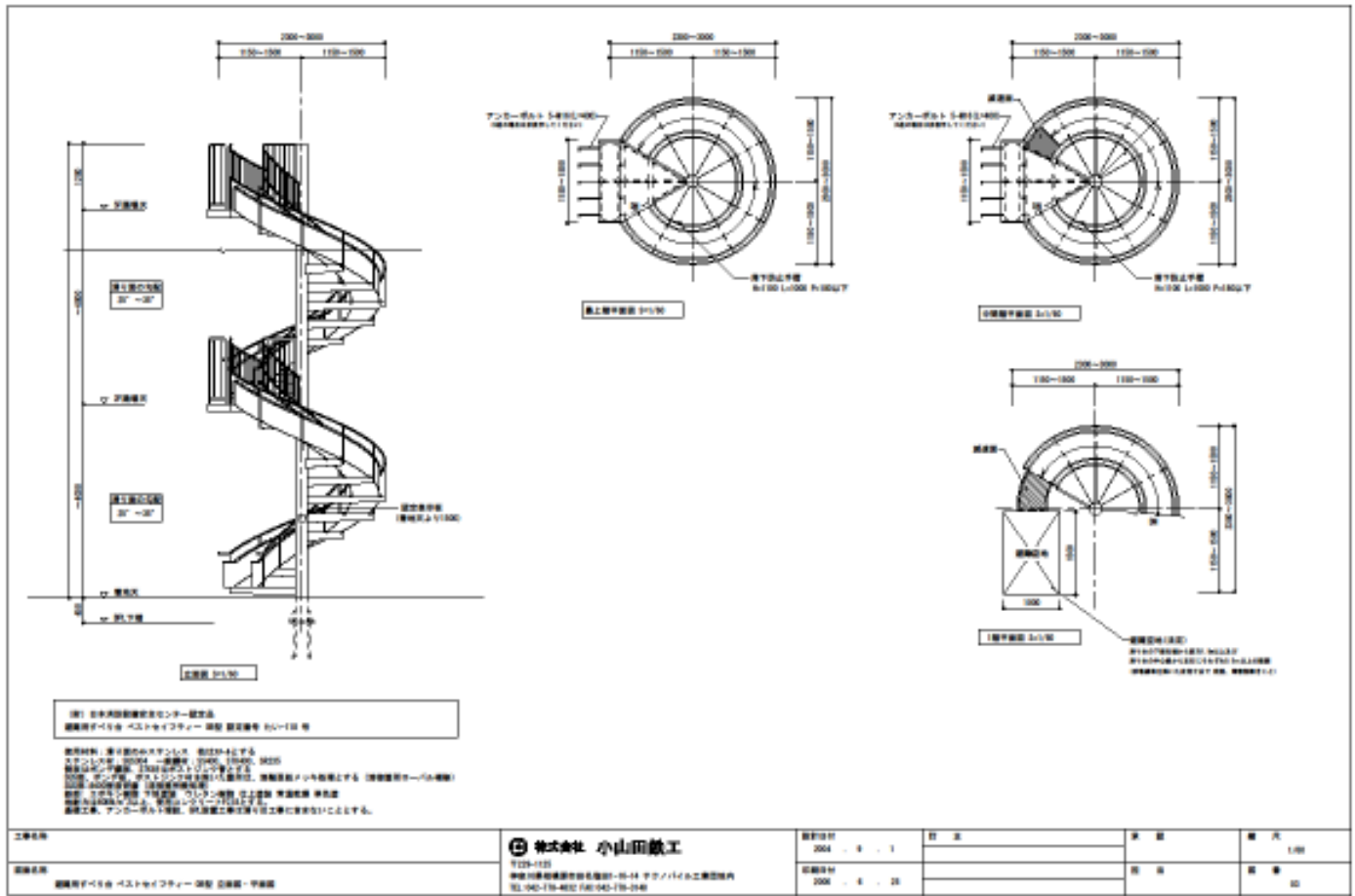
製品仕様

形式	らせん式	ルーバー	無
設置可能階数	5F(4層)まで	屋根	オプションで設置可(要追加料金)
主要構成材料	亜鉛メッキ処理※1 スチール※2		
滑り面	ステンレス※3	備考	
仕上塗装	ポリウレタン樹脂塗装(鉄部)		

※1 溶融亜鉛メッキ、電気メッキであって、いわゆるドブ漬ではありません。

※2 SS400、STK400、SR235等です。 ※3 SUS304です。

図面イメージ



施工例



ベストセフティー OB-S型 (認定番号 たい-119)

らせん式避難用滑り台の標準タイプ オールステンレス製

特徴

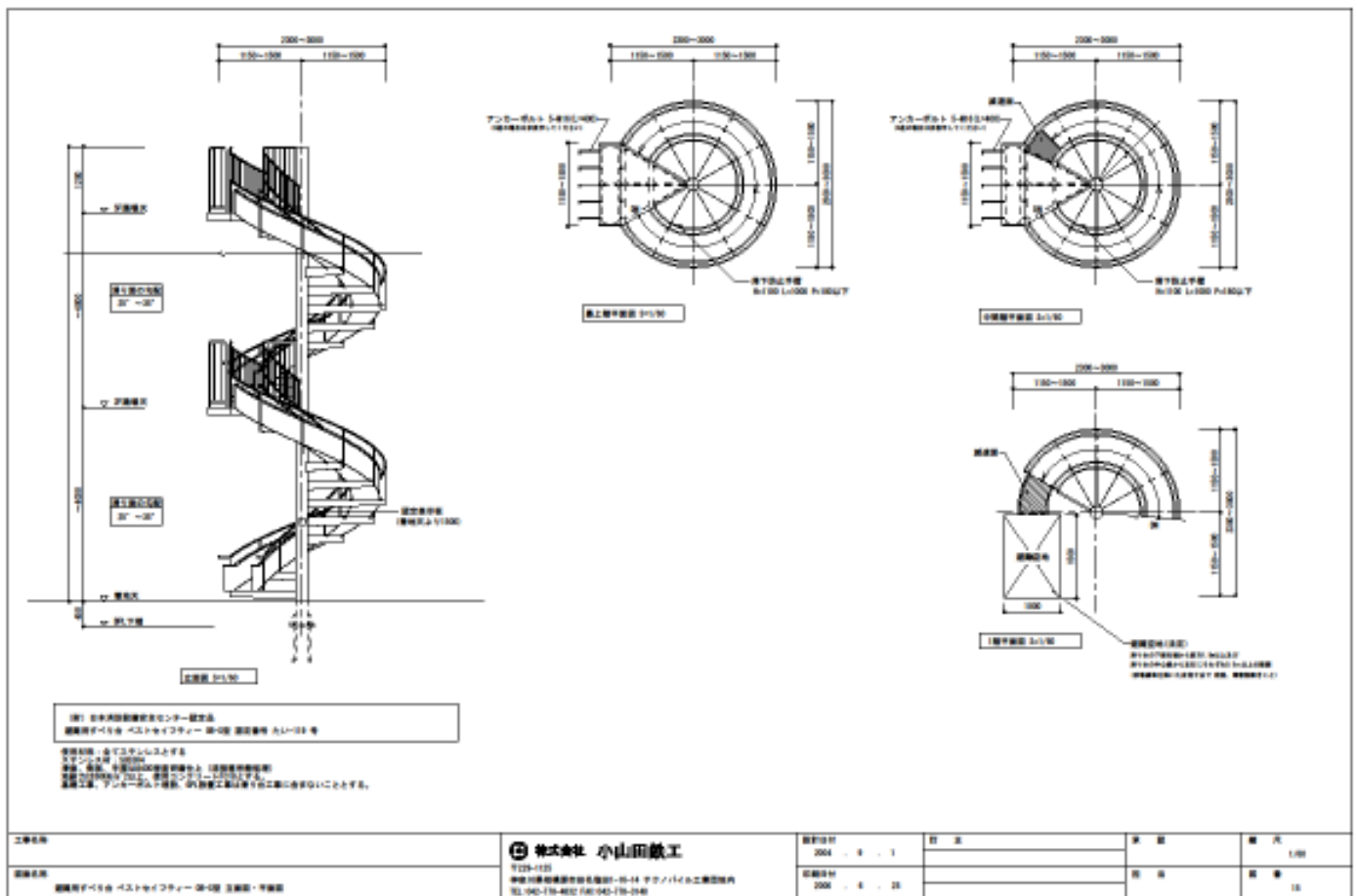
OB型を基本に、構成材料を全てSUS304ステンレスとしたタイプです。高耐候性とメンテナンスフリーが期待できる高性能の滑り台です。

製品仕様

形式	らせん式	ルーバー	無
設置可能階数	5F(4層)まで	屋根	オプションで設置可(要追加料金)
主要構成材料	ステンレス※1		
滑り面	ステンレス※1	備考	
仕上塗装	無		

※1 SUS304 です。

図面イメージ



施工例



ベストセフティー OBL-S型 (認定番号 たい-121)

ルーバー付らせん式避難用滑り台 オールステンレス製

特徴

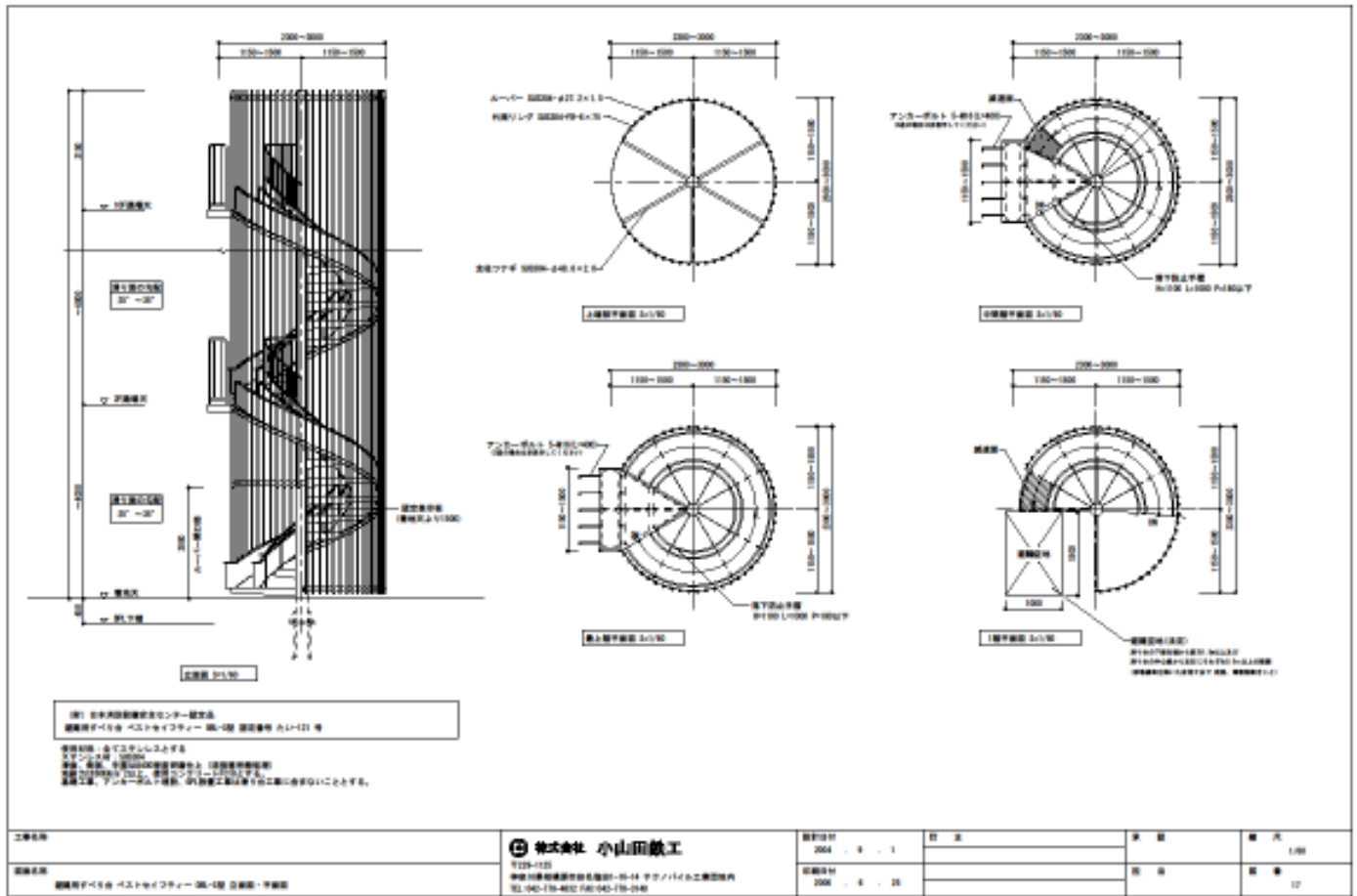
OBL 型を基本に、構成材料を全て SUS304 ステンレスとしたタイプです。高耐候性とメンテナンスフリーが期待できる高性能の滑り台です。

製品仕様

形式	らせん式	ルーバー	有(ステンレス材)
設置可能階数	10F(9層)まで	屋根	オプションで設置可(要追加料金)
主要構成材料	ステンレス※1		
滑り面	ステンレス※1	備考	
仕上塗装	無		

※1 SUS304 です。

図面イメージ



施工例



ベストセフティー OBV型 (認定番号 たい-124)

外階段付らせん式避難用滑り台

特徴

らせん式滑り台の外側に階段を設けたタイプです。

直径は 4,800mm 以上とやや大きいものの、有効幅 900mm のらせん階段で、より多様な避難方法をとることが可能です。

製品仕様

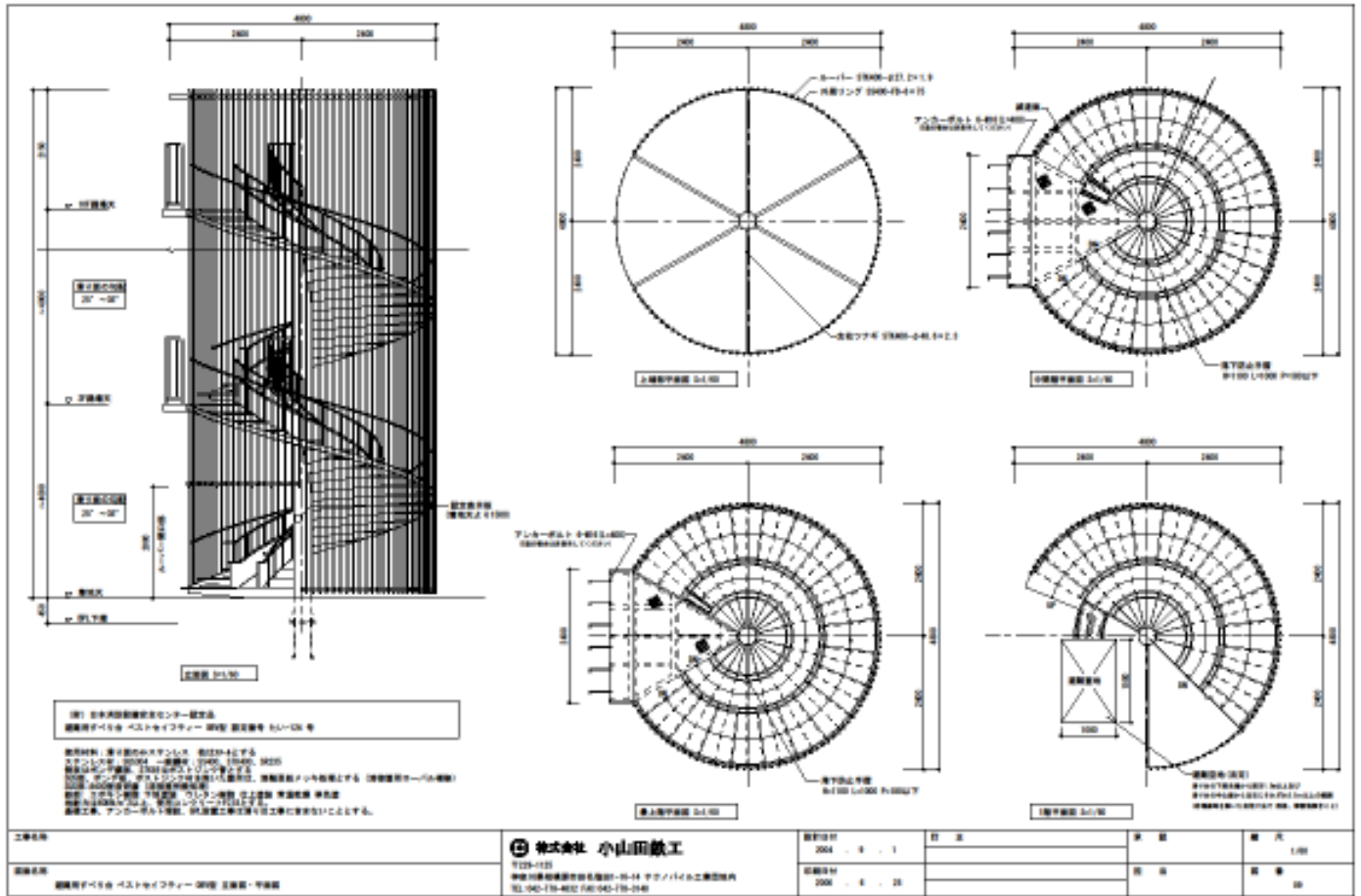
形式	らせん式	ルーバー	有(スチール材)
設置可能階数	10F(9層)まで	屋根	オプションで設置可(要追加料金)
主要構成材料	亜鉛メッキ処理※1 スチール※2		
滑り面	ステンレス※3	備考	外側階段併設※4
仕上塗装	ポリウレタン樹脂塗装(鉄部)		

※1 溶融亜鉛メッキ、電気メッキであって、いわゆるドブ漬ではありません。

※2 SS400、STK400、SR235 等です。 ※3 SUS304 です。

※4 廻り階段となりますので、設計の際には各部寸法や各自治体の条例等をご確認下さい。また、階段部分は消防認定の対象外です。

図面イメージ



施工例



ベストセフティー OBV-S型 (認定番号 たい-217)

外階段付らせん式避難用滑り台 オールステンレス製

特徴

OBV 型を基本に、構成材料を全て SUS304 ステンレスとしたタイプです。高耐候性とメンテナンスフリーが期待できる高性能の滑り台です。

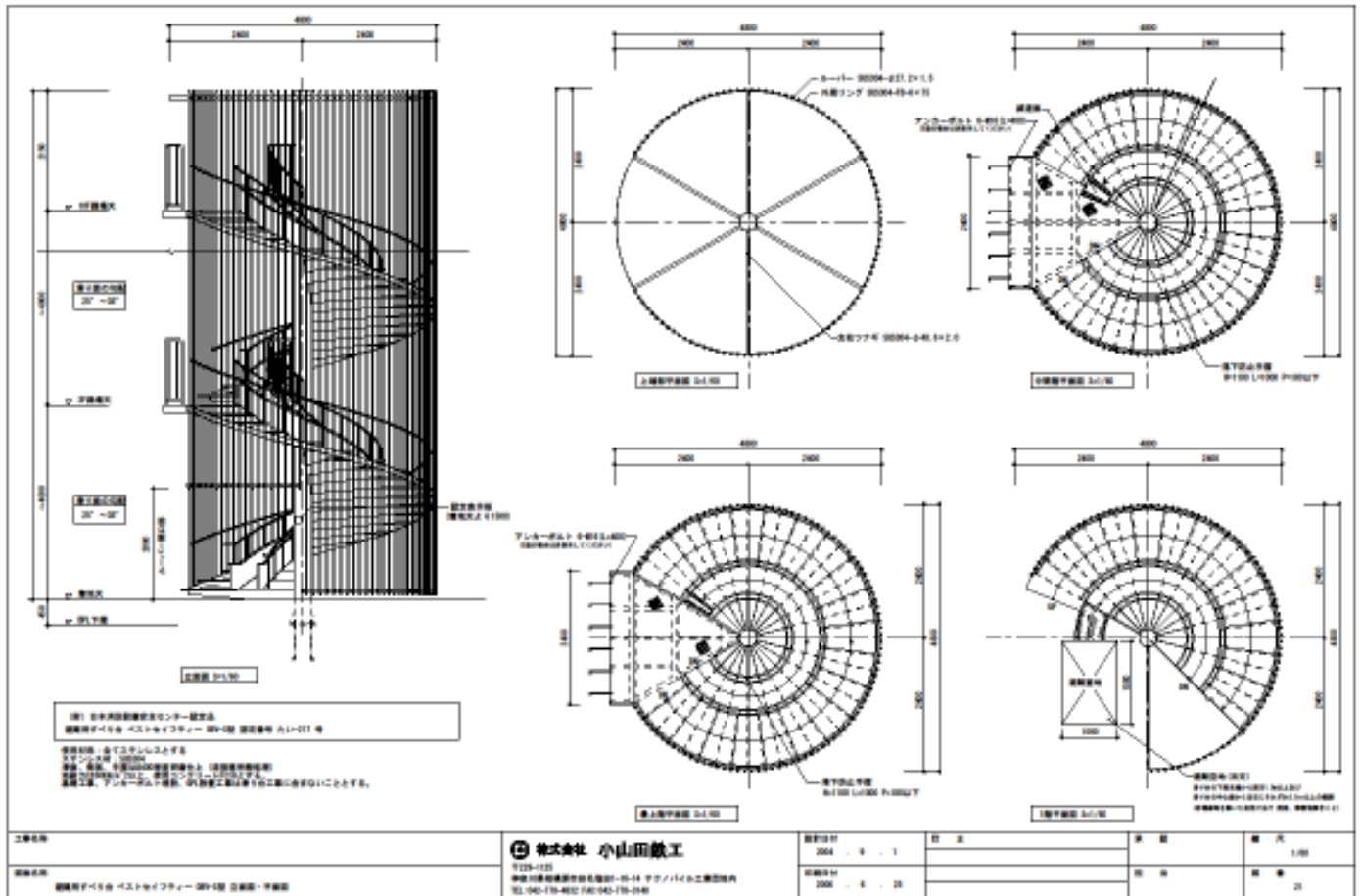
製品仕様

形式	らせん式	ルーバー	有(ステンレス材)
設置可能階数	10F(9層)まで	屋根	オプションで設置可(要追加料金)
主要構成材料	ステンレス※1		
滑り面	ステンレス※1	備考	外側階段併設※2(ステンレス材)
仕上塗装	無		

※1 SUS304 です。

※2 廻り階段となりますので、設計の際には各部寸法や各自治体の条例等をご確認下さい。また、階段部分は消防認定の対象外です。

図面イメージ



施工例



避難用滑り台ベストセフティー 一覧表

名称	認定区分	認定番号	構造	備考
ベストセフティー OB型	認定品	たい-118	らせん式	ルーバー無し
ベストセフティー OB-S型	認定品	たい-119	らせん式	ルーバー無し、オールステンレス
ベストセフティー OBL型	認定品	たい-120	らせん式	ルーバー有り
ベストセフティー OBL-N型	認定品	たい-120-1	らせん式	ルーバー有り、すべり面連続
ベストセフティー OBL-S型	認定品	たい-121	らせん式	ルーバー有り、オールステンレス
ベストセフティー OBK型	認定品	たい-122	らせん式	内階段併設
ベストセフティー OBK-P型	認定品	たい-122-1	らせん式	内階段併設、ルーバーパンチング
ベストセフティー OBK-S型	認定品	たい-123	らせん式	内階段併設、オールステンレス
ベストセフティー OBRF型	評定品	評-058	らせん式	すべり面ローラー製
ベストセフティー OBV型	認定品	たい-124	らせん式	外階段併設
ベストセフティー OT型	認定品	たい-125	直線式	すべり面のみステンレス
ベストセフティー OT-S型	認定品	たい-126	直線式	オールステンレス
ベストセフティー OTP型	認定品	たい-173	直線式 曲線式	すべり面パイプ製
ベストセフティー OTP-S型	認定品	たい-174	直線式 曲線式	すべり面パイプ製、オールステンレス
ベストセフティー OBV-S型	認定品	たい-217	らせん式	外階段併設、オールステンレス
ベストセフティー ON型	認定品	たい-231	らせん式	小径
ベストセフティー ON-S型	認定品	たい-242	らせん式	小径、オールステンレス

認定品制度とは

消防手続きの簡略化のため、財団法人日本消防設備安全センターによって行われる型式認定制度です。

正確のため、以下に財団法人日本消防設備安全センターWEB サイトにおける記述(2008年6月現在)を引用させていただきます。

『(財団法人日本消防設備安全センターでは)消防法施行規則第31条の4の規定による登録認定機関として、学識経験者、消防機関の代表等よりなる「消防用設備等認定委員会」において、消防用設備等又はこれらの部分である機械器具が国の定める設備等技術基準の全部又は一部に適合していることの「認定」を行い、適合している個々の製品には「認定証票」を交付します。

認定証票の表示が付された消防用設備等は、同規則第31条の3の規定により設備等技術基準に適合したものと見なされ、消防機関が個別に性能確認試験を行う必要がなくなります。』(引用ここまで)

また、これとは別に「評定」という制度もあり、これは「認定」ほどの効力はありませんが、当該製品が消防設備としての一応の要件を満たすことを証明する制度であって、消防検査・性能確認試験の際の参考となります。

鋼製滑り台におけるメッキ・仕上塗装に関して

弊社滑り台に関しては、製品組立後メッキ槽に投入して亜鉛メッキを付着させる、いわゆる「ドブ漬け」メッキではありません。これは滑り台という製品の性質上、外形寸法が大きいことや材料にステンレスや薄鋼板が用いられること等の理由により、製品組立後の「ドブ漬け」が不可能だからです。

そのため、弊社滑り台に関しては、主柱、ブラケット、踊場などのドブ漬け可能な各部品に関してドブ漬けを行い、手摺や側板などの部品に関してはボンデ鋼板TM、メッキ鋼板、ポストジंक管TMなどの、予め溶融亜鉛メッキまたは電気メッキ加工が施された市販材料などを用いて、組立加工する方式を取っております。また、組立時にはなるべくメッキボルトによる接合箇所を増やして溶接箇所を少なくするとともに、溶接箇所はローバルTMにて補修を行っております。その上でエポキシ樹脂系錆止塗装、2液硬化式ポリウレタン樹脂塗装を行います。以上が弊社のスチールを主要構成材料とする滑り台の標準仕様です。

※ボンデ鋼板TMは新日本製鉄株式会社の電気亜鉛めっき鋼板の登録商標です。
 ※ポストジंक管TMは大和鋼管工業株式会社の亜鉛めっき鋼管の登録商標です。
 ※ローバルTMはローバル株式会社の亜鉛めっき含有塗料の登録商標です。

本来の用途を守って正しくお使い下さい

緊急時避難用の滑り台であって、遊具ではありません。破損、故障、経年劣化、事故防止の観点から、1年あたり数回の避難訓練、点検、保守管理時以外はご使用にならないよう、お願い申し上げます。

維持・管理方法

一般的に、滑り台が設置される建物は、その用途から言って消防設備士等の有資格者による点検と管轄消防署への報告が義務付けられている場合が大半です。年に数回、以下の内容について、目視や実際に滑る等の点検を行ってください。

- ・ 滑り面の汚損や、避難経路上の障害物など、避難に支障をきたす状態におかれていないか
- ・ 各部品に緩みやガタツキが無い
- ・ 放置すると性能に支障をきたす部品の磨耗、(美観上のものではなく性能面での)塗装の劣化や錆が無い

鉄部に関しては、塗装の劣化状況を見ながら塗り直しを行うことで製品の寿命を延ばすことができます。

また、ステンレス部はほぼメンテナンスフリーで使用できますが、汚れを放置しておくことで錆の原因になったり、滑らなくなったりしますので、定期的に目視による点検とクリーニングを行うように心がけてください。

耐用年数について

製品の耐用年数につきましては、設置される地域や建物配置などでも異なりますので、明言する事はできかねます。

実績としまして、スチールを主要構成材料とする滑り台の場合、5年毎に塗り直しを行い、20年[※]ほど使用されている例があります。オールステンレス製滑り台は塗り直しなどのメンテナンスをせずに20年[※]ほど使用されているものも多く、それらの大半は設置されている建物と同じだけの寿命を保ちそうに思われます。いずれも本来の用途にのみ供され、適切な維持管理がなされた場合での実績です。(※製品の保証期間ではありません)

